



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月31日

上場会社名 株式会社椿本チエイン 上場取引所 東
コード番号 6371 URL <https://www.tsubakimoto.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 木村 隆利
問合せ先責任者（役職名） 経営企画室長（氏名） 田村 武資（TEL）06-6441-0054
半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 2025年12月2日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	135,634	△0.5	8,302	△12.2	10,116	△9.9	9,921	△0.9
2025年3月期中間期	136,360	5.9	9,459	9.7	11,225	8.3	10,014	37.2

（注）包括利益 2026年3月期中間期 9,332百万円（105.1％） 2025年3月期中間期 4,550百万円（△81.1％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	99.12	—
2025年3月期中間期	94.96	—

（注）当社は2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	368,045	257,227	69.3
2025年3月期	371,510	262,162	69.9

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 255,036百万円 2025年3月期 259,810百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	99.00	—	47.00	—
2026年3月期	—	40.00			
2026年3月期（予想）			—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注）当社は2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期第2四半期末の1株当たり配当金につきましては、当該株式分割前の金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。なお、株式分割を考慮した場合の2025年3月期第2四半期末の1株当たり配当金は33円、年間配当金は80円となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	284,000	1.7	20,000	△12.5	22,000	△13.2	19,000	△14.1	189.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	106,213,279株	2025年3月期	106,213,279株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	8,396,516株	2025年3月期	3,648,863株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	100,091,356株	2025年3月期中間期	105,456,729株

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の当社グループを取り巻く経営環境の変化、市場の動向、為替の変動などにより、予想数値と異なる場合があります。また、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当中間期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当中間期の財政状態の概況	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 中間連結貸借対照表	P. 4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	P. 6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、米国の関税政策を背景に下振れリスクが強まったものの、各国の経済政策が下支えとなり、全体としては緩やかな回復基調を維持しました。米国経済は関税による企業コストの増加や物価上昇により個人消費が減速した反面、設備投資が下支えとなり、底堅く推移しました。欧州や中国においても、外需の低迷により景気は伸び悩みとなりましたが、財政刺激策により底割れを回避しました。

わが国経済については、インバウンド需要の回復や人手不足対策を背景とした設備投資の増加等、前向きな動きがみられましたが、輸出環境の不透明感や物価上昇による実質所得の伸び悩みが個人消費の回復を妨げ、全体としては力強さを欠く局面が続きました。

先行きについては、世界経済は米国の関税政策により景気下押し圧力が強まるものの、各国の財政政策や経済対策が下支えとなり、回復基調は維持されるものと見込んでおります。わが国経済については、企業の設備投資が引き続き支えとなる一方で、関税影響の本格化による輸出減少が見込まれること等から、弱含みでの推移が続くと想定しております。

このような状況のもと、当社グループは、長期ビジョン2030に掲げた「2030年のありたい姿」の実現に向け、2021年度よりスタートさせた「中期経営計画2025」の課題を完遂するとともに、資本コストを意識した各種施策の展開と経営管理の強化に注力してまいります。また、今後も社会課題の解決に貢献する企業グループとして、カーボンニュートラル実現を含むサステナビリティ活動のさらなる推進に取り組んでまいります。

この結果、当中間連結会計期間の受注高は1,467億22百万円（前年同期比6.6%増）、売上高は1,356億34百万円（同0.5%減）となりました。

損益につきましては、営業利益は83億2百万円（同12.2%減）、経常利益は101億16百万円（同9.9%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は99億21百万円（同0.9%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

[チェーン]

チェーンにつきましては、日本、米州、欧州、環インド洋において販売が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

チェーンの受注高は492億41百万円（前年同期比8.9%増）、売上高は480億50百万円（同3.7%増）となりましたが、損益につきましては、米国関税影響等により、営業利益は69億20百万円（同4.5%減）となりました。

[モーションコントロール]

モーションコントロールにつきましては、日本、米州、欧州、環インド洋、中国において販売が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

モーションコントロールの受注高は114億94百万円（前年同期比4.3%増）、売上高は115億87百万円（同4.1%増）、営業利益は4億23百万円（同190.8%増）となりました。

[モビリティ]

モビリティにつきましては、日本、米州、欧州の拠点において自動車エンジン用タイミングチェーンシステムなどの販売が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

モビリティの受注高は453億56百万円（前年同期比2.5%増）、売上高は453億28百万円（同1.4%増）、営業利益は44億72百万円（同21.4%増）となりました。

[マテハン]

マテハンにつきましては、日本国内における建設機械業界向けや新聞印刷工場向けシステムの販売が増加したほか、環インド洋における粉粒体搬送システムの販売が増加しましたが、米州における自動車業界向けシステムや金属屑搬送・クーラント処理装置の販売が減少したことなどにより、前年同期比で減収となりました。

マテハンの受注高は394億44百万円（前年同期比10.2%増）、売上高は295億26百万円（同10.4%減）、損益につきましては4億94百万円の営業損失（前年同期は1億6百万円の営業損失）となりました。

[その他]

その他の受注高は11億84百万円(前年同期比11.7%減)、売上高は11億42百万円(同9.7%減)、損益につきましては4億84百万円の営業損失(前年同期は5億4百万円の営業損失)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して34億64百万円減少し、3,680億45百万円となりました。

流動資産は、商品及び製品の増加などにより棚卸資産が19億94百万円増加、その他の流動資産が15億83百万円増加した一方で、現金及び預金が35億27百万円減少したこと、電子記録債権が16億77百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して17億59百万円減少し、1,915億53百万円となりました。

固定資産は、福井美浜工場の竣工などにより有形固定資産が3億86百万円増加した一方で、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が11億33百万円減少したこと、保有株式の時価上昇があったものの保有株式の売却および子会社の新規連結などにより投資有価証券が5億89百万円減少したこと、無形固定資産が1億18百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して17億4百万円減少し、1,764億92百万円となりました。

(負債)

負債は、賞与引当金が9億29百万円減少した一方で、営業外電子記録債務が12億43百万円増加したこと、未払法人税等が6億67百万円増加したこと、その他の流動負債が5億92百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して14億70百万円増加し、1,108億18百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金が52億32百万円増加した一方で、取得などにより自己株式が91億89百万円増加(純資産は減少)したこと、為替換算調整勘定が14億47百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して49億35百万円減少の2,572億27百万円となり、自己資本比率は69.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の実績ならびに現時点における見通しを勘案した結果、2025年5月14日に公表しました2026年3月期通期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたします。

通期連結業績予想数値の前提となる下半期の為替レートは、1米ドル=148円、1ユーロ=170円としております。

2026年3月期通期の連結業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2025年5月14日 発表)	290,000	21,500	23,000	20,000	204.05
今回修正予想(B)	284,000	20,000	22,000	19,000	189.15
増減額(B-A)	△6,000	△1,500	△1,000	△1,000	—
増減率(%)	△2.1	△7.0	△4.3	△5.0	—

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	67,945	64,418
受取手形、売掛金及び契約資産	47,041	46,176
電子記録債権	17,598	15,921
有価証券	780	1,516
商品及び製品	23,763	25,501
仕掛品	17,668	18,749
原材料及び貯蔵品	14,728	13,904
その他	4,796	6,380
貸倒引当金	△1,011	△1,015
流動資産合計	193,313	191,553
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,679	34,848
機械装置及び運搬具（純額）	33,828	33,277
工具、器具及び備品（純額）	4,836	4,817
土地	38,686	38,844
建設仮勘定	6,665	6,294
有形固定資産合計	117,695	118,082
無形固定資産		
のれん	1,677	1,592
その他	7,567	7,534
無形固定資産合計	9,245	9,126
投資その他の資産		
投資有価証券	39,876	39,287
退職給付に係る資産	344	370
その他	11,137	9,724
貸倒引当金	△102	△98
投資その他の資産合計	51,255	49,283
固定資産合計	178,197	176,492
資産合計	371,510	368,045

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,284	16,457
電子記録債務	3,650	3,301
短期借入金	4,271	4,245
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	1,573	127
未払法人税等	2,239	2,907
賞与引当金	6,141	5,211
工事損失引当金	81	87
株主優待引当金	126	—
営業外電子記録債務	1,315	2,558
その他	21,822	22,414
流動負債合計	62,505	62,311
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	4,300	5,734
役員退職慰労引当金	159	136
退職給付に係る負債	12,461	12,830
資産除去債務	631	640
その他	19,289	19,164
固定負債合計	46,842	48,507
負債合計	109,348	110,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,076	17,076
資本剰余金	12,587	12,217
利益剰余金	192,135	197,368
自己株式	△6,018	△15,208
株主資本合計	215,781	211,454
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,495	20,496
繰延ヘッジ損益	△13	△6
土地再評価差額金	△10,744	△10,744
為替換算調整勘定	34,446	32,999
退職給付に係る調整累計額	844	836
その他の包括利益累計額合計	44,028	43,581
非支配株主持分	2,352	2,190
純資産合計	262,162	257,227
負債純資産合計	371,510	368,045

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	136,360	135,634
売上原価	97,289	95,554
売上総利益	39,070	40,080
販売費及び一般管理費	29,610	31,778
営業利益	9,459	8,302
営業外収益		
受取利息	700	804
受取配当金	1,147	708
為替差益	—	243
その他	812	590
営業外収益合計	2,660	2,346
営業外費用		
支払利息	139	156
為替差損	357	—
その他	398	376
営業外費用合計	894	532
経常利益	11,225	10,116
特別利益		
段階取得に係る差益	—	71
投資有価証券売却益	2,781	3,905
特別利益合計	2,781	3,976
特別損失		
関係会社株式評価損	—	371
特別損失合計	—	371
税金等調整前中間純利益	14,007	13,721
法人税、住民税及び事業税	3,808	3,298
法人税等調整額	160	476
法人税等合計	3,968	3,775
中間純利益	10,039	9,946
非支配株主に帰属する中間純利益	24	24
親会社株主に帰属する中間純利益	10,014	9,921

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	10,039	9,946
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,796	1,000
繰延ヘッジ損益	150	7
為替換算調整勘定	1,119	△1,585
退職給付に係る調整額	△4	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	41	△28
その他の包括利益合計	△5,489	△613
中間包括利益	4,550	9,332
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,286	9,474
非支配株主に係る中間包括利益	263	△141

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	14,007	13,721
減価償却費	7,006	7,054
のれん償却額	97	180
固定資産除売却損益(△は益)	14	33
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1
関係会社株式評価損	96	371
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,781	△3,906
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△71
貸倒引当金の増減額(△は減少)	14	△11
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	179	340
売上債権の増減額(△は増加)	5,207	2,799
棚卸資産の増減額(△は増加)	677	△1,790
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,148	△502
その他	△3,452	△2,643
小計	14,918	15,577
利息及び配当金の受取額	1,653	1,479
利息の支払額	△130	△165
法人税等の支払額	△4,723	△3,199
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,718	13,691
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,889	△2,857
定期預金の払戻による収入	2,000	3,049
投資有価証券の取得による支出	△11	△10
投資有価証券の売却による収入	2,987	4,254
連結範囲の変更を伴う子会社出資金の取得による支出	—	△274
関係会社株式の取得による支出	△2,094	△499
短期貸付金の純増減額(△は増加)	4	2
長期貸付けによる支出	△6	△7
長期貸付金の回収による収入	8	7
固定資産の取得による支出	△6,333	△5,424
固定資産の売却による収入	101	178
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,233	△1,581

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4	△7
長期借入れによる収入	2,150	1,450
長期借入金の返済による支出	△4,132	△1,501
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△493	△450
配当金の支払額	△3,585	△4,820
非支配株主への配当金の支払額	△35	△19
自己株式の取得による支出	△9,150	△9,276
自己株式の売却による収入	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,251	△14,625
現金及び現金同等物に係る換算差額	△66	△500
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,833	△3,016
現金及び現金同等物の期首残高	74,655	63,316
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	679
現金及び現金同等物の中間期末残高	64,821	60,980

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式4,795,100株の取得を行っております。この取得等により、当中間連結会計期間において、自己株式が9,189百万円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が15,208百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	モーション コント ロール	モビリ ティ	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	46,343	11,126	44,681	32,944	135,095	1,264	136,360	—	136,360
セグメント間の内部 売上高又は振替高	928	237	7	60	1,233	437	1,670	△1,670	—
計	47,271	11,363	44,688	33,005	136,328	1,702	138,030	△1,670	136,360
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	7,247	145	3,684	△106	10,970	△504	10,466	△1,006	9,459

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業、新規事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△1,006百万円には、セグメント間取引消去31百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,038百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	モーション コント ロール	モビリ ティ	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	48,050	11,587	45,328	29,526	134,492	1,142	135,634	—	135,634
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,014	292	4	84	1,395	485	1,880	△1,880	—
計	49,064	11,879	45,333	29,610	135,887	1,627	137,515	△1,880	135,634
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	6,920	423	4,472	△494	11,321	△484	10,837	△2,534	8,302

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業、新規事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△2,534百万円には、セグメント間取引消去57百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,592百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。